

- ★今年の冬は全国的に寒波・大雪に見舞われましたが、日高地方も例外ではなく、当軽種馬育成調教場では早朝から除雪・不凍剤散布等を徹底し、安全な馬道確保に努めました。若馬達は凍てつく中、屋内調教施設で順調にトレーニングをこなしております。なお、昨年の利用頭数は前年実績割れ（92.8%）となりましたが、ゴールドシップをはじめ利用馬の活躍は著しく（中央競馬791勝、地方競馬2,552勝）、今年も更なる活躍を期待しています。
- ★当センター研修生は、極寒の中、厳しい訓練の合間をぬって、スキー実習、ばんえい競馬見学等を実施しリフレッシュ。4月9日のJRA育成馬展示会での騎乗供覧、4月19日の修了式を迎え、全国の育成牧場へと巣立っていきます。また、4月10日には希望に満ちた新研修生が入講してきますので、今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い致します。（Y.H.）
- ★「調査研究」は、日高軽農協の宮越大輔氏に、近年急速に普及してきましたレポジトリーについて執筆していただきました。購買者のリスク回避を目的とした、市場で開示される上場馬のX線検査所見については、その所見と予後（競走成績）との関係が大部分明らかにされておらず、まだまだ検討の余地が残されています。今後も、購買者が安心して上場馬を買えるように、役立つレポジトリー所見の提示を期待しています。
- ★私どもの軽種馬育成調教センター（BTC）も、今年から公益法人の仲間入りです。その認定までの道のりについては、「たづな」で古林博常務理事に詳しく書いていただきました。そして、BTCの公益事業の柱を担う軽種馬の育成調教技術の改善・普及事業、その中にBTCニュースの発行があります。社会公益を追及する使命を受けて、読者の皆さんのニーズに対応すべく、より分かりやすい情報・知識の普及に、少ない予算の中で進めていきたいと思えます。
- ★BTCニュースの発行、赤字常習犯の私には少し荷が重すぎるかも、特に少ない予算でというところが。というのも、長年、発行についての事務的なすべてを、一人で取り仕切ってきました小林孝平主査が、今年から日本軽種馬協会（JBBA）へ移籍したためです。これからは私一人で、大丈夫かな。小林主査には長い間本当にお疲れ様でした。（Y.F.）

BTC ニュース 2013年 第91号

発行日：平成25年4月1日

発行：公益財団法人 軽種馬育成調教センター 〒183-0024 東京都府中市日吉町1-1 東京競馬場内
TEL 042 (358) 1173(代) FAX 042 (358) 1174 ●ホームページ <http://www.b-t-c.or.jp>

編集責任者：杉本 修 編集：藤井 良和

制作・印刷：西谷印刷株式会社

〒135-0022 東京都江東区三好2-1-4 TEL 03 (3630) 2007